

自然学習講座

テーマ:水元公園の糞虫をさがそう!
～うちレストランのヒミツ～

日時:令和6年5月25日(土) 13時から15時まで(雨天決行)

講師:水元かわせみの里専門員

参加費:無料 定員:20人(小学生以上)

申込開始:令和6年5月2日(木)

集合:水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム クロマルエンマコガネ

受付:令和6年5月12日(日)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば軍手をご持参ください。
※ 小学生以下は保護者同伴。



糞虫をはじめとした糞に集まる虫たちを観察し、糞を通じた生きものたちの関わりについて学びます。

イベント・ガイドウォーク

カワセミー斉調査 令和6年4月29日(月・祝)説明会 10:00~12:00
令和6年5月6日(月・祝)調査日 9:30 ~13:00

水元公園全域の各所でカワセミを定点観察し、繁殖期のカワセミの個体数を調査します。市民参加型の調査です。

ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 4月20日

(通算第205号)



水元小合溜の生きもの:195

ひっそりと咲く小さな花

カスマグサ

マメ科ソラマメ属

全長 30~60cm

花期 4~5月頃

カラスノエンドウ(標準和名:ヤハズエンドウ)とスズメノエンドウの中間のような姿なので、「カラスとスズメの間(マ)」という意味で、『カスマグサ』と名付けられました。水元公園の桜堤沿いや圃場などで両種に紛れるようにひっそりと咲いています。

花柄が長く伸び、花は2つほどがまとまって咲く。

花は小さく、薄紫色。

花柄が長く伸び、花は4つほどがまとまって咲く。

花は大きく、赤紫色。



スズメノエンドウ

◀似ている植物▶

同じソラマメ属の仲間ですが、雰囲気は似ていますが、花の色やつき方などに違いがあるので、そこで見分けられます。



カラスノエンドウ
(ヤハズエンドウ)

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



4/17 **ウグイス** 春を告げる「ホーホケキョ」の鳴き声がお馴染みの鳥。水元かわせみの里周辺で声が聞こえた。



4/17 **ムクドリ** オレンジ色のくちばしと脚が特徴。水元かわせみの里南側の草地で走りまわる姿が見られた。



4/17 **メジロ** 小合溜横の桜に蜜を吸いにやってくる。この時期は複雑ながらもきれいなさえずりが聞こえる。



4/17 **ナミテントウ** 写真のような模様の他にも約200種類もの様々な模様がある。アブラムシが大好物。



4/17 **ツマキチョウ** モンシロチョウとは異なり、羽先が黄色のチョウ。4月～5月の時期にしか見ることができない。



4/17 **ヤハズエンドウ** 「カラスノエンドウ」の名前でも有名な野草。テントウムシ等春の虫も訪れていた。



4/17 **ハルジオン** 道端で見かける春の花。花粉や花蜜を求めて、ハナアブやミツバチ、チョウの仲間が訪れる。



4/17 **ヘビイチゴ** 5枚の黄色の花びらに、3つに分かれた葉っぱが見分けるポイント。6月ごろに赤い実をつける。



4/17 **アズマヒキガエル(オタマジャクシ)** 野草園の池で元気に泳いでいる。池を眺めているとたまに水面へやって来る。

専門員コラム 「春の風物詩。オタマジャクシの群れ」の話

この時期、池を覗き込んでみると、水中で黒い塊がもぞもぞと動いているのが見えるときがあります。よく近付いてみると、それが実は小さな生きものの集まりだとわかります。春に生まれたばかりで、まだまだ小さなオタマジャクシの群れです。

水元公園で春に見られる黒いオタマジャクシは、アズマヒキガエルのオタマジャクシ(⑨)です。アズマヒキガエルのオタマジャクシには群れる性質があり、数が多い所ではまるで一つの塊かのようになります。これは、群れることによって捕食者から身を守ろうとするアズマヒキガエルの習性で、春先にしか見られない光景です。しかし、残念ながらアズマヒキガエルを含むカエルの多くは、開発による水辺の減少などによって数を減らしている絶滅危惧種です。また乾燥化や乱獲もあってか、水元公園でもこうした光景をあまり見なくなり、個体数が減少傾向にある気がします。

カエルを含めた多くの生きものが暮らしていけるよう水元かわせみの里で管理している野草園の池では、今年は久しぶりにアズマヒキガエルの産卵があり、少ないながらもオタマジャクシが泳いでいるのが見られます。このような光景がこの先もずっと見られるよう、水元公園をより豊かな環境にしていこう、お手伝いできたらと思います。(野間)



● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

今年度初の自然学習講座の補助対応をしました！

今年度初となるボランティア活動として、自然学習講座「帰ってきた水元公園のカワセミを知ろう！」の補助対応をしました。野外に出てカワセミの観察を行う際に望遠鏡をカワセミに合わせるほか、観察や移動中の安全管理などを行いました。



カワセミのすみかや体の形の特徴について詳しく学んでいる様子。



野外ではかわせみの池で、実際にカワセミを観察する補助を行いました。



カワセミが生息する水元小合溜の水質浄化を行っている水元かわせみの里に水を送るための取水口について、専門員とともに案内しました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 4月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

4月の見頃

アズマヒキガエルのオタマジャクシ

4月初旬ごろに卵から孵化し、約1ヵ月~2ヵ月オタマジャクシとして暮らします。現在は体長2cmほどと小さいですが、成体になると最大15cmほどの大きなカエルになります。東京都では準絶滅危惧種となっており姿が見られなくなってきていますが、草園では今年も無事に産卵をしてくれました。



野草園マップ

見られるポイントはココ!

